

(様式例第11)

医 事 第 号
令和 年 月 日

長崎県知事 大石 賢吾 殿

住 所 長崎市新地町 6-39
申請者 地方独立行政法人長崎市立病院機構
氏 名 理事長 片峰 茂

長崎みなとメディカルセンターの地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和4年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒850-8555 長崎市新地町6-39
氏名	地方独立行政法人長崎市立病院機構 理事長 片峰 茂

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

長崎みなとメディカルセンター

3 所在の場所

〒850-8555 長崎新地町6-39	電話 (095) 822 - 3251
------------------------	-----------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	6床	13床	床	494床	513床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 救急蘇生装置、除細動器、ペースメーカー、心電計、ポータブルエックス線撮影装置、呼吸循環監視装置、人工呼吸装置、経皮的酸素分圧監視装置又は経皮的動脈血酸素飽和度測定装置微量輸液装置、超音波診断装置、心電図モニター装置、自家発電装置、電解質定量検査装置、血液ガス分析装置
化学検査室	(主な設備) 電気化学発光免疫測定装置、生化学自動分析装置、グリコヘモグロビン測定装置、血液凝固測定装置、多項目自動血球分析装置
細菌検査室	(主な設備) 血液培養自動分析装置、抗酸菌分離培養装置、同定感受性検査システム
病理検査室	(主な設備) 自動包埋装置、自動染色装置、自動免疫装置、自動封入装置、クリオスタット
病理解剖室	(主な設備) 解剖台、写真撮影装置
研究室	(主な設備) プロジェクター、モニター、電子カルテPC
講義室	室数 1 室 収容定員 150 人
図書室	室数 1 室 蔵所数 2500冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 1 台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 33.93 m ² [共用室の場合]

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率	82.2%	算定期間	令和4年 4月 1日～ 令和5年 3月 31日
地域医療支援病院逆紹介率	167.5%		
算出根拠	A : 紹介患者の数		7,211人
	B : 初診患者の数		8,776人
	C : 逆紹介患者の数		14,697人

- (注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況 (令和4年3/31現在)

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考	
1	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	38.75	
2	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	38.75	
3	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	38.75	
4	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	38.75	
5	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	38.75	
6	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	38.75	
7	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	38.75	
8	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	38.75	
9	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	38.75	
10	薬剤師		常勤 非常勤	専従 非専従	38.75	
11	放射線技師		常勤 非常勤	専従 非専従	38.75	
12	臨床検査技師		常勤 非常勤	専従 非専従	38.75	

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	8床
専用病床	12床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
手術室（9室）	418.63㎡	（主な設備）手術台、モニター、無影灯、麻酔器、顕微鏡、電気メス、手術用内視鏡システム、除細動器、患者加温装置、血液ガス分析装置	可
ハイブリット手術室	53.3㎡	（主な設備）アンギオ装置、モニター、電メス、除細動器	可
初療室	116.6㎡	（主な設備）無影灯、エコー、人工呼吸器、モニター、ストレッチャー、麻酔器、除細動器、輸液加温装置	可
放射線室	304.1㎡	（主な設備）一般撮影4室、血管造影室2室、CT室2室それぞれ一般撮影機器、血管造影装置及びCT設置	可
	㎡	（主な設備）	

4 備考

心臓血管内科、脳神経内科・外科においては医師直通のホットラインにより24時間対応可。小児科においても医師を24時間配置。

（注）特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。

既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	4,447人 (2,427人)
上記以外の救急患者の数	4,681人 (1,022人)
合計	9,128人 (3,449人)

（注）それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

(様式例第 14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

対象述べ病床数 7,300床
 利用回数 25回
 共同利用を行った医療機関延べ数 25 (①)
 上記の内、開設者と直接関係のない医療機関の延べ数 25 (②)
 共同利用率 100% (②/①×100)
 利用延病床数 25床
 病床利用率 0.34%

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

建物全部（病棟、手術室等）
 設備 CT、MRI、RI、血管連続撮影装置、腹部エコー他
 機器 上記に付随する器械及び器具一式

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 有 無
 イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名：
 職種：事務

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙1のとおり				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	20床
--------------	-----

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

別紙2のとおり

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	16回
(2) (1) の合計研修者数	624人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 有 無
- イ 研修委員会設置の有無 有 無
- ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	医師	呼吸器内科	院長	41年	研修責任者
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講義室	93.05m ²	(主な設備) プロジェクターおよびモニター
研究室	14.35m ²	(主な設備) プロジェクター、モニター、電子カルテPC
	m ²	(主な設備)
	m ²	(主な設備)
	m ²	(主な設備)

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	院長	
管理担当者氏名	医事課長 看護部長	薬剤部長

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		各該当課及び室、科にて保管	日誌、診療録、エックス線写真にて分類
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	患者総合支援センター	年ごとに帳簿管理
	救急医療の提供の実績	医事課	年ごと、月ごとにデータ管理
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	企画総務課及び医事課	研修実施
	閲覧実績	医事課	年ごとにデータ管理
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	患者総合支援センター	年ごと、月ごとにデータ管理

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	院長
閲覧担当者氏名	医事課
閲覧の求めに応じる場所	1階相談室
閲覧の手続の概要	
依頼時に必要用紙に記載してもらい、本人確認をする。 後日書類の受け渡し等行う。	

前年度の総閲覧件数		103件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	103件

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4回	
委員会における議論の概要		
<p>令和4年6月10日 リモート会議 令和4年8月17日 リモート会議 令和4年11月16日 リモート会議 令和5年2月22日 リモート会議</p> <p><議題></p> <ol style="list-style-type: none">1. 患者数統計について<ol style="list-style-type: none">(1) 患者数統計について(2) 診療科別患者数統計について2. 地域医療支援病院紹介率について<ol style="list-style-type: none">(1) 地域医療支援病院紹介率について(2) 地域別紹介・逆紹介件数について3. 救急搬入患者について<ol style="list-style-type: none">(1) 救急搬入患者内訳について(2) 救急車搬送件数内訳について(3) ドクターヘリ搬送内訳について4. 共同利用の実施について<ol style="list-style-type: none">(1) 共同利用の実施について5. 相談件数等について<ol style="list-style-type: none">(1) 相談件数等について6. 地域医療従事者に対する研修について<ol style="list-style-type: none">(1) 地域医療従事者に対する研修について7. そのほか委員会全般に関することについて		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・その他 ()
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	
患者相談件数	3,740人
患者相談の概要	
<p>相談人数については、2022年度は3,740人で前年度と比較すると227人減少。相談内容は退院・転院調整の相談が最も多く、2022年度は71%で2021年度とほぼ変わらず、病床稼働率が高まり、退院・転院促進が行われていることが背景にある。病床制限のため命に係わる疾患等を優先し予定入院者をコントロールする一方で、救急搬送困難症例の一時収容機能により軽症患者や社会的入院の患者等が夜間・休日等の時間外に入院し、ベッド状況が逼迫することが多い。早期の退院転院調整、その他困りごとに関しては、院内外との連携のもと相談支援体制を充実させ患者や家族の不安軽減に努めている。</p> <p>がん相談については、2022年度は2021年度よりも113人の増加で、コロナ前の水準に近づきつつある。退院時共同指導料の年度比較について、在宅医療との連携時に行う退院時共同指導・退院前に実施したカンファレンスの数について、2022年度は2021年度と比較して11件の増加で43件実施。地域との連携を今後も促進できるよう努めていく。</p>	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 平成30年11月に日本医療機能評価機構の病院機能評価認定病院 (一般病院2<3rdG:Ver. 2.0>) 受審。平成31年3月付で認定。	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 定期的な広報紙の発行。 定期的な病院ホームページの更新。	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
・退院調整部門の概要 部門専従社会福祉士1名、専任看護師1名、退院支援職員 (社会福祉士6名、看護師4名) を配置し、病棟担当制をとり退院支援スクリーニング・アセスメントシートを用いて退院支援が必要な患者を抽出し、急性期病院として退院、転院、在宅移行を円滑にできるよう患者や家族の相談支援及び退院調整を行っている。	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 肺がん、胃がん、大腸がん、肝がん、乳がん、前立腺がん、膝がん 上記疾患において関連医療機関と連携をとりながら運用している。 ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 医療機関の連携を強化し、利用率を向上させていく。	

地方独立行政法人長崎市立病院機構長崎みなとメディカルセンター 連携医運営要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、長崎みなとメディカルセンター（以下「当院」という。）と連携する医師（以下「連携医」という。）について必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要綱において「連携医」とは、次条の手続きにより事前に当院の連携医として認定された医師をいう。

2 この要綱において「開放病床」とは、前項に規定する連携医が、当院に入院させた自己の患者に対し、当院に勤務する医師（以下「病院医」という。）と共同して治療にあたる当院内の病床をいう。

(連携医の認定)

第3条 連携医となる医師は、患者総合支援センターに申請を行い、連携医として院長の認定を受けなければならない。

2 前項の申請は、長崎みなとメディカルセンター連携医申請書（第1号様式）により行うものとする。また、長崎みなとメディカルセンター連携医情報（第4号様式又は第5号様式）を患者総合支援センターまで併せて提出しなければならない。

3 院長は、前項の申請書の提出があったときは、その内容を審査し、認定を決定したときは、認定証（第2号様式）を当該申請者に交付するものとする。

4 第2項の申請書の記載内容に変更があったときは、すみやかに長崎みなとメディカルセンター連携医変更・辞退届（第3号様式）を患者総合支援センターまで提出しなければならない。

5 連携医の認定については、辞退の申し出がない限り、毎年自動更新とする。

(共同指導)

第4条 連携医のうち、共同指導を行う者は、病院医と十分に相談を行った上で入院患者に対し共同指導を行うものとする。

2 入院期間中は、病院医が担当医となり患者の治療にあたる。

3 連携医の共同指導にあたっては、名札及び白衣を着用するものとする。

4 連携医が行う共同指導の範囲は、原則として口頭による説明のみとする。

ただし、手術、検査の立ち会い及びカンファレンス等、病院医が許可した場合はこの限りではない。

5 共同指導を行う時間については、当院の休日を除く月曜日から金曜日までの午前8時45分から午後5時30分までとする。ただし、病院医が特に必要と認めた場合はこの限りではない。

6 連携医が開放病床で共同指導を行った場合、その共同指導に関する事項を連携医及び当院の診療録に記載するものとする。

(規程の遵守)

第5条 連携医は当院で共同指導を行うに際しては、当院の諸規程を遵守しなければならない。

(医療事故等の対応)

第6条 共同指導時に生じた医療事故等については、当院の諸規程に基づき当院の職員と当該連携医が協力して対応しなければならない。

(委任)

第7条 この要綱の定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行し、第3条第5項の改正規定は、平成29年1月1日から適用する。

附 則

この要綱は、平成29年8月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年4月10日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成30年9月26日から施行する。

(経過措置)

2 この要綱の施行の際現に改正前の地方独立行政法人長崎みなとメディカルセンター開放病床共同指導登録医運営要綱の規定により登録医の認定を受けた者は、改正後の第3条による認定を受けたものとみなす。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

No.	医療機関名	医師名
001	奥内科医院	奥 保彦
002	たかすぎ内科クリニック	隆杉 正和
004	白井小児クリニック	永野 清昭
006	のりむらクリニック	法村 大輔
007	さかぐち泌尿器科医院	坂口 幹
008	やない小児科医院	楊井 正紀
009	やない小児科医院	楊井 章紀
010	ちひろ内科クリニック	土屋 知洋
011	晴海台クリニック	柴田 茂守
012	吉田医院	吉田 光夫
013	原口医院	原口 千春
014	井石内科医院	米田 圭子
017	はやし小児科	林 克敏
018	横田医院	横田 実
019	おおの整形外科	大野 孝生
020	おおの乳腺・甲状腺クリニック	大野 毅
021	あきよし都美内科クリニック	秋吉 都美
023	まわたり内科医院	馬渡 一雄
024	はやしだ内科	林田 正文
025	岩永医院	岩永 信昭
027	さとう内科医院	佐藤 辰夫
028	元永内科クリニック	元永 一郎
029	たくま医院	詫摩 和彦
030	影浦内科医院	影浦 博信
031	松元クリニック	松元 定次
032	ながた大腸肛門クリニック	長田 康彦
033	ごんどう小児科	権藤 泉
034	ふくしまクリニック	福嶋 成幸
035	松尾内科医院	松尾 健吾
037	やまさき内科医院	山崎 英文
038	川本内科医院	川本 充
039	牟田産婦人科	牟田 邦夫
041	落内科医院	落 義男
042	広瀬クリニック	廣瀬 弥幸
044	川原内科クリニック	川原 健治郎
045	白髭内科医院	白髭 豊
046	麻生整形外科医院	麻生 英一郎
047	すぎやま内科・消化器科	杉山 英一郎
049	サイノ脳神経外科	道祖尾 伯史
050	山根内科胃腸科医院	山根 豊
051	のぼる内科クリニック	吉田 登
052	しながわ内科クリニック	品川 達夫
054	南長崎クリニック	難波 裕幸
055	サイクサ外科医院	立石 修三
056	福田医院	高岸 有子
057	中村内科医院	中村 正幸
058	田中外科眼科クリニック	田中 ともゑ
059	田中外科眼科クリニック	田中 研次
060	みね形成外科・美容皮膚クリニック	峯 龍太郎
061	みね形成外科・美容皮膚クリニック	峯 友梨
063	宮崎内科医院	宮崎 正信
064	ゆきなり・クリニック	行成 壽家
065	藤田クリニック	藤田 晃
066	高橋整形外科クリニック	高橋 克郎
067	安井小児科医院	安井 誠
068	山本外科医院	山本 修
069	江上耳鼻咽喉科医院	江上 直也
070	三浦産婦人科	三浦 清戀
071	三浦産婦人科	三浦 佳由子

No.	医療機関名	医師名
072	三浦産婦人科	梶村 秀雄
073	三浦産婦人科	三浦 成陽
074	ヨゼフクリニック	高木 正剛
075	愛育小児科医院	田中 司
076	おおみや小児科医院	大宮 朗
077	星子医院	星子 浄水
078	星子医院	星子 龍英
079	井手外科医院	井手 聰
080	植松整形外科医院	植松 伸久
081	片山小児科医院	片山 和弘
082	岩永クリニック	岩永 大
083	出口小児科内科医院	出口 忠澄
084	中村内科クリニック	中村 憲章
085	田川耳鼻咽喉科診療所	田川 幸雄
087	おおくぼ乳腺クリニック	大久保 仁
089	コムロ耳鼻咽喉科クリニック	小室 哲
090	赤司消化器クリニック	赤司 有史
091	長崎みどり病院	上戸 穂高
093	あおぞら内科クリニック	笹山 一夫
094	有高クリニック	有高 知樹
095	白ひげ整形外科医院	白髭 章
096	藤井外科医院	藤井 卓
097	花みずきレディースクリニック	濱崎 哲史
098	花みずきレディースクリニック	犬塚 邦彦
099	花みずきレディースクリニック	宮本 正史
100	赤澤内科クリニック	赤澤 美保子
101	富永小児科医院	富永 典男
102	杉田レディースクリニック	杉田 豊隆
103	高木クリニック	高木 雄二
104	松原牟田内科小児科医院	牟田 隆也
105	西じま内科クリニック	西島 教治
106	はまのまち内科循環器内科	伊藤 昭
107	おおつる内科医院	大津留 泉
108	いとう内科医院	伊東 昭郎
109	こが内科外科クリニック	古賀 崇
110	藤瀬クリニック	藤瀬 直樹
111	安永脳神経外科	安永 暁生
112	ひさまつ腎・泌尿器科クリニック	久松 浩
113	中川外科医院	中川 元道
114	もとかわ耳鼻咽喉科	本川 浩一
115	ホーム・ホスピス中尾クリニック	中尾 勘一郎
116	近藤医院	近藤 敏
117	森医院	森 頼隆
118	野田消化器クリニック	野田 剛稔
120	しもむら産婦人科	下村 修
121	池田整形外科クリニック	池田 倫太郎
122	中西内科	中西 俊明
123	武田内科医院	武田 宜士
124	やまもと内科呼吸器クリニック	山本 眞志
125	ささの耳鼻咽喉科クリニック	佐々野 利春
126	黒岩医院	黒岩 正行
127	原田医院	原田 知行
128	津田眼科医院	津田 佳助
129	ふくだこどもクリニック	福田 友子
130	津田耳鼻咽喉科医院	津田 祥夫
131	長崎市高島国民健康保険診療所	川口 昭男
132	もとむら産婦人科医院	金子 啓二郎
133	中山小児科クリニック	中山 紀男
134	田村内科神経内科油木坂クリニック	岩永 圭介

No.	医療機関名	医師名
135	つつみ内科クリニック	堤 恒雄
136	山川内科	山川 賢一
139	やました内科	山下 まり子
141	深堀内科医院	深堀 茂樹
142	津田やすお眼科	津田 恭央
143	山口内科・循環器内科	山口 達之
144	あんず整形外科	高木 謙司郎
146	みどりクリニック	坂本 俊文
147	長与よこた眼科	横田 怜二
148	星野内科呼吸器科クリニック	星野 和彦
149	りゅうキッズクリニック	劉 美成
150	竹下内科医院	竹下 潤一郎
151	長崎市池島診療所	村川敏春
152	長崎市伊王島国民健康保険診療所	寺田 正純
153	新クリニック	森 貴俊
154	池田胃腸内科医院	池田 幸紀
155	天本内科医院	天本 大輔
156	諸熊医院	諸熊 正史
157	諸熊医院	高島 治子
158	おひさまこどもクリニック	尹 忠秀
159	牟田内科・循環器科医院	牟田 啓三
160	森こどもクリニック	森 了吾
161	せとぐち外科クリニック	瀬戸口 正幸
162	平井内科医院	平井 義修
163	みきクリニック	杠葉 美樹
164	高村内科医院	高村 邦彦
165	伊藤クリニック	伊藤 年徳
166	櫻川循環器内科クリニック	櫻川 浩一郎
167	かたやまハートケアクリニック	片山 徹郎
169	さくら形成クリニック	鬼塚 圭子
170	阿保外科医院	阿保 貴章
171	みやぞえ小児科医院	宮副 初司
172	佐藤クリニック	佐藤 英輔
173	井手内科クリニック	井手 政利
174	まさき内科呼吸器クリニック	真崎 宏則
175	朝長整形外科クリニック	朝長 久雄
176	木谷医院	木谷 泰博
177	桑原医院	桑原 記久雄
178	山の手クリニック	中谷 晃
179	はらかわ内科クリニック	原川 誠二郎
180	松元リカバリークリニック	松元 志朗
181	金子眼科クリニック	金子 昌幸
182	右田医院	右田 礼二郎
184	諸熊内科医院	立石 訓己
185	鳴見台山中クリニック	山中 静夫
186	谷川放射線科胃腸科医院	谷川 健
187	きのしたこどもクリニック	木下 英一
188	こもり内科医院	小森 宗敬
189	麻生外科医院	平田 恵三
190	さとう内科医院	佐藤 剛
191	平松クリニック	平松 征生
192	天野内科	天野 秀明
193	ハシモト耳鼻咽喉科医院	橋本 清
194	佐藤和眼科医院	佐藤 和雄
195	松本循環器内科医院	松本 保和
196	しまながクリニック	嶋長 正樹
197	高原中央医院	高原 聡
198	高原中央医院	須賀原 育子
199	さかもとクリニック	坂本 晃

No.	医療機関名	医師名
200	吉見内科胃腸科	吉見 公三郎
201	奥平外科医院	奥平 定之
202	森内科クリニック	森 久光
203	なかお耳鼻咽喉科	中尾 善亮
204	矢上藤尾大坪外科胃腸科	藤尾 俊之
205	黒部医院	黒部 勝則
206	せいごうクリニック	中村 清剛
207	中嶋クリニック	中嶋 眞
208	ながさき内科・リウマチ科病院	坪井 雅彦
209	秋山内科医院	秋山 盛登司
210	浦クリニック	浦 一秀
211	中田内科	中田 雅也
212	清原龍内科	清原 龍夫
213	清原龍内科	清原 龍彦
214	木下漢方内科クリニック	木下 節生
215	秋山眼科クリニック	秋山 和人
216	石川内科クリニック	石川 秀文
217	西田内科胃腸内科医院	西田 義之
218	戸田内科	戸田 源二
219	みのり会診療所	天本 俊太
220	三島内科医院	三島 致衍
221	あしざわ内科	芦澤 麻美子
222	ひぐち医院	城野 恵理
223	おおぞら整形外科	原田 真一
224	坂本内科	坂本 裕二
225	出口外科眼科医院	出口 雅浩
226	たがわ内科	田川 秀樹
227	長崎腎病院	船越 哲
228	長崎腎病院	原田 孝司
229	もりハートクリニック	森 秀樹
230	わたなべ小児科医院	渡辺 幹生
231	山崎医院	磯本 恵理子
232	猪狩医院	猪狩 民生
233	泉田外科	泉田 弘行
234	やなぎクリニック	柳 忠宏
235	やなぎクリニック	柳 忠道
236	さくら内科	佐々木 豊裕
237	山元内科	山元 秀文
238	たじま内科消化器内科	田島平一郎
239	神浦診療所	丸林秀太郎
240	藤本クリニック	藤本 正博
241	どうつ耳鼻咽喉科クリニック	道津 充
242	石川内科医院	石川 壽
243	香焼民主診療所	山道 和則
245	矢上藤尾大坪外科胃腸科	大坪 光次
246	山口整形外科医院	山口 重嘉
247	山口整形外科医院	山口 和博
248	みしま内科・消化器内科クリニック	三嶋 亮介
249	松崎内科循環器科	松崎 忠樹
250	森光泌尿器科クリニック	森光 浩
251	いわさきJクリニック	岩崎 貴裕
252	はたち耳鼻咽喉科クリニック	畑地 憲輔
253	大浦診療所	上尾 真一
254	かたやまハートケアクリニック	片山 二郎
255	川崎医院	川崎 智子
256	山崎医院	山崎 洋二
257	おくの内科クリニック	奥野 信一郎
259	新里クリニック浦上	新里 健
260	新里クリニック浦上	新里 健暁

長崎みなとメディカルセンター 連携医一覧

No.	医療機関名	医師名
261	新里クリニック浦上	松下 哲朗
262	井川内科医院	井川 長年
265	糸柳プレストクリニック	糸柳 則昭
266	まつお産科・婦人科クリニック	松尾 敦
267	山崎整形外科医院	山崎 浩二郎
268	馬場医院	馬場 是明
269	まつもと内科・麻酔科クリニック	松本 正順
270	なかやま内科診療所	中山 史生
271	おぐし内科・眼科	小串 亮三
272	おぐし内科・眼科	小串 玲子
273	しもぐち内科	下口 和矩
274	宮村眼科	宮村 紀毅
275	安中外科・脳神経外科医院	安中 正和
277	なかしま内科クリニック	中嶋 寛
278	重工記念長崎病院	渡海 大隆
279	ながさきハートクリニック	坂井 秀章
280	しらいし胃腸クリニック	白石 良介
281	たちばなペイクリニック	今村 剛
282	たちばなペイクリニック	南 ひとみ
283	たちばなペイクリニック	南 一敏
284	たちばなペイクリニック	今村 汪
285	たちばなペイクリニック	安部 ひろみ
286	田中皮ふ科医院	田中 敬一
287	長崎宝在宅医療クリニック	松尾 誠司
288	山辺歯科医院	山辺 滋
289	山辺歯科医院	山辺 優美子
290	長崎けやき医院	山下 三千年
291	いまみち歯科医院	今道 友之
292	江良医院	江良 修
293	はらだ内科医院	原田 義高
294	ながさきひまわり眼科	藤田 皓
295	武藤内科循環器内科	武藤 成紀
297	築町クリニック	三島 一幸
298	かご町サトウ医院	佐藤 綾子
299	T・Iクリニック長崎～乳腺外科・婦人科	渡海 由貴子
300	たかの耳鼻咽喉科	高野 篤
301	ウチカラクリニック	森 勇磨
302	田栗レディースクリニック	田栗 博紹
303	もり脳神経外科クリニック	森 勝春
304	さかい循環器内科	坂井 健二
305	ほんだ内科・内視鏡クリニック	本田 徹郎

No.	医療機関名	医師名
-----	-------	-----

地域医療従事者に対する研修について（令和4年4月～令和5年3月）

講演会・研修会 目的：当院の診療状況を発信する事で、地域医療機関・その他の医療従事者との連携を深める

No.	開催日時	演題	講師（敬称略）	主催/共催	参加人数	うち院外参加人数	
①	R4年7月20日（水） 17：30～18：00	肝臓がんの内科治療について	（当院消化器内科）	主催	11名	2名	
②	R4年8月10日（水） 19：10～20：30	病院と薬局の薬剤師が一緒に取り組む 感染症 患者さんへの介入と評価	（京都薬科大学教授）	主催	50名	45名	
③	R4年10月27日（木） 18：00～19：00	倫理講習会	（長崎大学病院臨床研修 センター長）	主催	59名	20名	
④	R4年11月11日（金） 19：10～20：30	薬薬連携を活かした薬物治療支援と患者のQOL向上を 目指して	（小倉記念病院薬剤部 課長）	主催	43名	37名	
⑤	R4年11月18日（金） 18：00～19：00	研究開発センター講習会	（当院副院長兼消化器内科 主任診療部長）	主催	31名	20名	
⑥	R4年12月5日（月） 17：30～18：15	基本的な慢性疾患看護と行動変化につなげるコミュニ ケーション	（当院脳卒中リハビリテー ション看護認定看護師） （当院慢性心不全看護認定 看護師）	主催	34名	10名	
⑦	R4年12月8日（木） 18：00～19：00	治験研修会	（長崎大学病院 臨床研修 センター副センター長）	主催	42名	20名	
⑧	R5年1月12日（木） 18：00～18：30	当院消化器外科手術の現状と今後について	（当院院長補佐兼消化器外科 主任診療部長）	主催	36名	3名	
⑨	R5年1月20日（金） 18：00～18：30	心臓への負担を減らすための日常生活の 工夫と当院の心不全看護の取り組み	（当院慢性心不全看護認定 看護師）	主催	38名	9名	
⑩	R5年2月10日（金） 18：00～19：00	当院の急性心筋梗塞の治療と課題について 心原性ショックに対する機械式循環補助の効果	（当院心臓血管内科主任診 療部長） （当院臨床工学部）	共催	36名	9名	
⑪	R5年2月17日（金） 19：10～20：00	がん患者における病薬連携～連携充実加算算定開始～ 大腸がんで最も頻用されるレジメン " CapeOX+Bevacizumab"	（当院薬剤部） （当院がん診療統括センター 長、がん薬物療法専門医・指導医）	共催	29名	17名	
⑫	R5年2月21日（火） 17：30～18：15	慢性疾患看護 ～自己管理に向け理論を用いた支援・コーチング～	（当院慢性心不全看護認定 看護師） （当院糖尿病看護認定看護 師）	主催	25名	3名	
⑬	R5年3月8日（水） 18：00～18：30	腹部大動脈瘤に対する治療～どうする高齢者～	（当院心臓血管外科主任診 療部長）	主催	51名	8名	
⑭	R5年3月17日（金） 19：10～20：30	バイオ後続品使用拡大に向けた取り組みと安全性評価 術前中止薬管理Webアプリの開発と臨床応用	（当院薬剤部係長） （佐賀大学医学部附属病 院薬剤部副薬剤部長）	共催	18名	12名	
⑮	R5年3月24日（金） 19：10～20：30	フォーミュラーをはじめました ここからはじめる、外来の抗菌薬適正使用戦略	（当院薬剤部主任） （佐賀大学医学部附属病院 感染制御部 病院助教）	共催	49名	41名	
⑯	R5年3月27日（月） 17：30～19：30	いまさら聞けないコーチング	（プラスコミュニケー ションズ代表）	主催	72名	23名	
合計					16回	624名	279名